



ボローニャのこと、なにをしようかと2人で話しながら、スマホのフォルダを振り返っていると、おいしそうな写真や、今でも家族で付き合いのあるフランスの編集者さんと初めて食事をした時の思い出(左)、写真から匂いまで感じられるお肉屋さん(左下)。2016年の入選者のみんなと審査員だった三浦太郎さんとの出会い(下)。斜塔から眺めたオレンジ色の景色(右下)。写真を見るだけでワクワクしてしまい、少しよだれも出てきそう。ここには書ききれない宝物にたくさん出会ったのがボローニャです。私たちが絵本を作るきっかけをいただいたのもここでした。入選した2016年、初めてボローニャを訪れた時は売り込みよりもとにかく美味しいものをたくさん食べよう!美味しいものに会おう!それだけをテーマに滞在しました。こう書くと聞こえは良いですが、私たちが思っていたようにはいかず、来年また頑張ろう!と早々に切り替えたのです。そして翌年、翌々年とブックフェアの経験を重ねて行くうちに、いろんな国から絵本を出版することができたり、お気に入りのブティックやレストラン、カフェ、道、宿にも出会いました。いくつかの奇跡もありました。もうここに書くスペースが足りなさそうですので、どこかでお会いした際に聞いていただければお話しいたします。

MiyaUni

わたしと ボローニャ

